

2007 年度

科目名 東洋史概説 B	対象学科・学年 文学部文財 2 回生	担当者 小田木 治太郎
授業テーマ 中国先史～古代の歴史と文化 II		
授業の概要と目標 中国は、世界四大文明の一つである中国文明の成立にはじまり、常に高度な文化を保ち続け、東アジア地域全体に強い影響力を誇ってきました。日本の歴史も中国の存在をぬきにしては語れません。本授業では、前期の東洋史概説 A に続いて、春秋戦国時代から漢帝国成立までの歴史をたどります。特に、近年増加がめざましい考古学資料を積極的に取り入れて、対象とする各時代の立体的把握を目指します。折に触れ、コンピュータを使って関連画像を見る時間を設けます。		
評価方法 学期末試験 80%、出席・受講状況 20%		
テキスト なし	著者	出版社
参考書 なし	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 春秋 周王室の東遷と春秋社会の成立 2. 春秋 中原覇者の台頭 3. 春秋 覇者の変質 4. 春秋 各国での内部抗争の激化 5. 戦国 激動の時代の幕開け 6. 戦国 各国の政治改革 7. 戦国 秦・商鞅の改革 8. 戦国 趙の盛衰と六国の滅亡 9. 戦国 都市の発達、思想の開花 10. 戦国 戦国時代の遺跡と文物 11. 秦 天下統一、皇帝の誕生 12. 秦 始皇帝の遺業・秦時代の遺跡と遺物 13. 漢 中央集権国家の確立 14. 後期のまとめ 15. 試験		